

九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン  
長崎大学 記念講演会  
平成28年2月9日(火) 18:30  
長崎大学医学部 良順会館1階専斎ホール



開会の辞

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 下川功研究科長

研究課題発表

座長 医療科学専攻・臨床腫瘍学 林 秀行



「Detection of EML4-ALK Fusion Gene by Using Nested Long-Ranged Polymerase Chain Reaction」

医療科学専攻・呼吸器病態制御学 竹本真之輔



「在宅・地域医療実習報告」

医療科学専攻・移植・消化器外科学 甲 拡子

座長 保健学専攻・看護実践科学 楠葉洋子教授



「肝細胞がん患者の心理的適応に関する研究」

保健学専攻・がん看護専門看護師養成コース 寺尾 敦

(平成27年3月25日修了生)



「外来化学療法を受けるがん患者の倦怠感と身体活動量の変化に関する研究」

保健学専攻・がん看護専門看護師養成コース 徳永 陽子

(平成27年3月25日修了生)

特別講演

座長：医療科学専攻・薬物治療学 塚元和弘教授



「集学的治療における放射線治療の役割：特に婦人科がんについて」  
琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 戸板孝文准教授



閉会の辞 医療科学専攻・臨床腫瘍学 芦澤和人教授



医師、歯科医師、看護師、診療放射線技師など60名の方にご参加いただきました。医療科学専攻、保健学専攻の大学院生の研究発表、長崎のがんプロ学生の特徴の一つである「在宅・地域医療実習報告」いずれも内容の深いもので、発表後に活発な討論もなされました。

戸板先生の特別講演では、現在の婦人科癌の治療、その中での放射線治療の位置づけについてたいへんわかりやすいお話しをしていただきました。これらの講演は長崎だけにとどまらず九州内の他大学からも聴講していただき、各大学から（アンケートにて）高い評価をいただきました。

琉球大学よりお越し頂いた戸板孝文先生、発表してくれたがんプロ大学院生の皆様、ご参加頂いた皆様、ご協力頂いた関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

（記 医療科学専攻・臨床腫瘍学 林 秀行）